

# 新春のお慶びを 申し上げます



明けましておめでとうございます。本年も、よろしくお願いいたします。

さて、全校児童や保護者の皆様にご協力いただいた教育診断アンケートの集計が終わりました。皆様からの貴重なご意見を、今後の指導に生かしていきます。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、保護者の皆様からいただいたご意見は裏面に紹介させていただきます。アンケート結果と併せてご一読下さい。(昨年度との比較は誤差を考慮し、3%以上の増減を色分けしています)

【児童診断結果 A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない】

	診断内容(児童の内容)	A	B	C	D	計	A+B 本年度	A+B 昨年度
1	学校へ行くことが楽しい。	37	10	2	0	49	95.9%	95.9%
2	あいさつや返事がよくできる。	23	21	5	0	49	89.8%	98.0%
3	いじめをしないで、友達を大切にしている。	36	13	0	0	49	100%	95.9%
4	先生のお話や道徳の授業などを通して規則やルールを学んだり、命の大切さを学んだりすることができる。	45	4	0	0	49	100%	100%
5	授業は分かりやすく楽しい。	38	10	1	0	49	98.0%	93.9%
6	授業では、自分の意見や感想などをすすんで発表している。	27	14	8	0	49	83.7%	93.9%
7	授業では、友達の意見や感想をしっかり聞くようにしている。	40	8	1	0	49	98.0%	98.0%
8	授業の中でタブレットを使うなど、楽しく学習ができています。	45	4	0	0	49	100%	100%
9	図書室または家の本など、時間を見つけて読書している。	29	11	8	1	49	81.6%	87.8%
10	学校行事(学習発表会、全校体育参観)や委員会活動(3年生以上)には、意欲的に参加している。	40	7	1	0	48	97.9%	100%
11	掃除や奉仕活動(ぎょぎょランドや青木川クリーン作戦、ことぶき会の皆さんとの合同清掃活動など)には、すすんで取り組むことができる。	33	14	2	0	49	95.9%	98.0%
12	健康でたくましい体になるよう、体育の授業やかけ足訓練などの体育的活動にがんばって取り組んでいる。	45	3	1	0	49	98.0%	100%
13	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる。	36	8	5	0	49	89.8%	91.8%
14	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる先生がいる。	37	6	4	2	49	87.8%	98.0%
15	私の気持ちやがんばりを分かってくれる先生がいる。	36	8	4	1	49	89.8%	95.9%
計		547	141	42	4	734	93.7%	96.5%

【保護者診断結果 A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない】

	診断内容(保護者の内容)	A	B	C	D	計	A+B 本年度	A+B 昨年度
1	学校は、各種おたより(学校だより、校長だより、学級通信)やホームページ、学校開放(学校行事や授業参観)を通して、教育活動の情報や学校の様子を知らせている。	41	8	0	0	49	100%	98.0%
2	学校は、保護者や地域の要望・願いに応えようと努めている。	25	23	0	0	48	100%	98.0%
3	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	28	15	6	0	49	87.8%	85.7%
4	子供は、すすんであいさつを行い、規則正しい生活をするように努めている。	19	26	4	0	49	91.8%	93.9%
5	学校は、河川学習や緑化活動、川遊びの会、青木川クリーン作戦など、特色ある教育活動を展開している。	40	9	0	0	49	100%	100%
6	学校は、全校体育や学習発表会など、保護者や地域の方と接する活動を行っている。	37	12	0	0	49	100%	98.0%
7	学校は、いじめアンケートの実施や道徳科の充実など、いじめの早期発見や対応に取り組み、命を大切にしたい思いのある学校づくりに努めている。	23	22	3	0	48	93.8%	95.9%
8	学校は、避難訓練や不審者対応訓練、交通安全教室、防災学習などを通して、自然災害や交通安全、防犯などへの対応に努めている。	31	18	0	0	49	100%	98.0%
9	学校は、道徳の授業、環境学習などを通して、豊かな心を育てようとしている。	29	20	0	0	49	100%	95.9%
10	学校はタブレットの活用など、子供たちが積極的に学習に取り組める工夫をし、確かな学力を身につけさせようとしている。	29	18	2	0	49	95.9%	98.0%
11	学校は、体育の授業や部活動、かけ足訓練などを通して、自ら困難に立ち向かい、健やかにたくましく生きていくように、子供たちの体力向上に努めている。	30	18	1	0	49	98.0%	98.0%
12	学校は、主に算数や英語の授業で、複数の教師による指導を随時行うことで、一人一人に対してわかる授業づくりに努めている。	34	14	1	0	49	98.0%	91.8%
13	子供は、授業がわかりやすいと言っている。	22	24	3	0	49	93.9%	93.9%
14	教師は、子供の能力や意欲を適切に判断し、認めてくれている。	29	17	1	1	48	95.8%	95.9%
15	保護者は、子供のことについて、学校に相談できる。	31	14	4	0	49	91.8%	95.9%
計		448	258	25	1	732	96.4%	95.8%

## ○データによる考察

児童のデータでは、「A評価+B評価」の合計割合がすべての項目で8割を超え、9割以上が大半を占めるといった結果となりました。同様に、保護者の皆様のデータでも、「A評価+B評価」の合計割合がすべての項目で8割を超え、9割以上が大半を占めています。このことから、児童の姿を通して、学校の教育姿勢が評価され、一定の成果を上げていると認められているものと判断します。

しかし、その中で、「A+B」の評価割合が他の項目より低かった以下の項目については、結果を真摯に受け止め、改善に向けて努力いたします。

### 【児童の設問6「授業では、自分の意見や感想などをすすんで発表している」について】

本項目については、D評価こそいませんが、C評価が8名となっています。特に高学年でその傾向が顕著となっています。発達段階的に、恥ずかしさが出てくる時期であることは事実ですが、少人数での学習のよさを生かし、自分の考えが自信をもって言えるように指導をしていきたいと考えます。そのための方策として、本年度より開始した「クローバー学習」でグループでの話し合いを中心とした学び合いを行い、自分の考えを伝える土台作りで学校全体で取り組んでいます。本年度の実践で得られる成果や課題を踏まえ、さらに充実したクローバー学習を進め、進んで発表できる子供たちを育てていきます。

### 【児童の内容 設問9「図書室または家の本など、時間を見つけて読書している」について】

本項目については、昨年度はC評価が5名、D評価が1名という結果でしたが、本年度はC評価が8名、D評価が1名という結果になってしまいました。

これはやはり、読書に対する意欲付けが十分にできなかったことが原因ではないかと考えます。意欲付けのための活動としては、例年と同様、前・後期にそれぞれ1回ずつ、図書委員会主催の読書週間を設け、読書の励行を行ってきました。しかし、本年度も秋に大きな行事が複数あり、子供たちに継続的な読書習慣を定着させることができませんでした。また、昨年と同様にコロナ禍において、お話し図書館をはじめ、教師による読み聞かせなどの機会が減り、読書の楽しさを十分に伝えられなかったことも要因の一つであるように考えます。

読書は児童の創造性を豊かにしたり、様々な考えに触れて見識を広めたりする上で、大切な活動です。本年度の反省を生かし、朝の学習の時間の有効活用などを通して子供たちが読書に没頭できる機会を確保できるようにしていきたいと考えます。

### 【保護者の内容 設問3「子供は、学校に行くのを楽しみにしている」について】

本項目について、D評価はありませんでしたが、C評価が6名となってしまいました。昨年度のC評価が7名という結果からは若干改善傾向にあるものの、十分に改善されたとはいえられません。児童に対して同様の内容を尋ねた設問1の回答では、C評価が2名という結果で、昨年度と同じ結果となりました。その原因として明確なものはありませんが、以下の点が気になりました。

児童の設問5、「授業は分かりやすく楽しい」では、C評価が1名ですが、保護者の設問13「子供は授業が分かりやすいと言っている」では、C評価が3名でした。

また、児童の設問13「自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる」のC評価が5名、同じく児童の設問14「自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる先生がいる」のC評価が4名、D評価が2名という結果でした。さらに、児童の設問15では「私の気持ちや頑張りを分かってくれる先生がいる」のC評価が4名、D評価が1名いました。

これらの点から、教職員や友達との人間関係が十分に構築されておらず、悩みを打ち明けることに抵抗を感じる児童がいるかもしれないと考えられます。今回の児童の回答を真摯に受け止めるとともに、学期に2回実施している生活アンケートやその後の面談、また日頃の生活の中で子供たちの様子を今まで以上に注視し、気軽に話ができる人間関係の構築に努めたいと考えます。

### 【上記以外の項目について】

保護者の設問4「子供はすすんであいさつを行い、規則正しい生活をするように努めている」は、「A評価+B評価」では91.8%でわずか2%の減少となっていますが、A評価だけを比べると、昨年度の26人に対して本年度は19名で、27%の減少となっています。登下校時の見守り隊や交通当番

の保護者へのあいさつ、家庭でのあいさつの習慣を定着させることは、先に取り上げた積極的な発言にもつながると思います。今後は規則正しい生活を含めた、基本的な生活習慣の定着に力を入れていきたいと思っています。

【保護者の皆様からいただいたご意見から】

○いつも学校が楽しかったと言っています。行事も可能な範囲で工夫してくれて、参観できるのでありがたいです。

→児童が学校に来ることを楽しみにできるような学校づくりを今後も心掛けていきたいと思っています。改善すべき点等がありましたら、お気軽に学校までお知らせください。

○学校は、子供たちのことをとてもよく考えてくれていると思いますが、コロナ対応については、あまり過敏になりすぎず、マスクを着用する場面を限定する、黙食を解除するなど状況に合わせた柔軟な対応ができるといいと思います。

→貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のマスクの着用や、会食についての対応などについては、文部科学省や教育委員会からの指導を踏まえ、状況に合わせてながら、緩和の方向で対応をしております。最近では、感染対策を十分にした上で調理実習を行うなど、実情に合わせて以前の学習活動を再開させています。今後も、安全な学校生活を送れるよう配慮をしながら、段階的に感染対策の見直しを図っていきます。

○子供たちの様子に合わせて宿題の量を配慮していただけていて、とてもありがたいです。宿題のない日は自分で計画的に好きなことをしたり、リラックスして過ごしたりする姿が見られて、親としても安心できます。

→宿題の量については、これまで職員間で検討をしてきました。併せて「宿題のない日の設定」についても検討を重ね、本年度3学期を「お試し期間」として、「毎週水曜日の宿題はなし」とする取組を行っていきます。今後はPTA役員の皆様のご意見をお伺いしながら、来年度の向けての方針を年内に決めていきます。なお、宿題のない日についての過ごし方についてはご家庭での話題にさせていただき、子供たちが有意義に過ごせるようにご協力下さい。

○いじめを疑うような事案がありました。子供が先生に相談をしたということだったので様子を見ていたところ、先生方がすぐに対応をしてくださり、大ごとになる前に対応することができました。やられた方もやった方もつらい思いをしなければならないので、今後も大ごとになる前に対策等お願いします。

→いじめは絶対に許してはいけないと、日々の教育活動を通じて繰り返し指導しています。その成果は、児童の設問3「いじめをしないで友達を大切にしている」の「A評価+B評価」が100%であることに表れているとおりです。しかし、時として相手を傷つける言葉を口にする、手が出てしまう等の問題が起きることも事実です。子供が悲しい思いをすることのないように、たくさん目で子供を見ていくことが大切だと考えます。保護者の皆さん、登下校時の見守り隊の皆さんなど、多くの方の温かい見守りや声掛けで、問題の早期発見、解決を進めていきたいと考えます。心配な点がありましたら、すぐに学校までお知らせ下さい。速やかに対応したいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

○山の学習など、去年の悪かったところをすぐに改善していただけたのがとてもありがたかったです。子供たちが発表できる機会をたくさんつくってくれていることもありがたいです。

→山の学習だけに限らず、1つの行事が終わると、すぐに職員に反省点を出してもらい、来年の実施に向けての改善を図っています。こうした部分について評価をしていただいたことがありがたいと感じています。よりよい教育活動を行えるように、皆様のご意見も参考にさせていただきますので、何かありましたら学校までお知らせください。

→子供たちの発表の機会はある限りたくさん作りたいと考えています。